

第 19 回中小商工業全国交流・研究集会

つくろう！中小商工業者の力で平和で持続可能な経済・社会を

HP・メールニュース<No.1>

2015 年 7 月 22 日

連日のご奮闘、ご苦勞様です。戦争法をめぐり国会の内外で歴史的な闘いが繰り広げられていますが、商工交流会もあと一カ月半と迫ってきました。

第 19 回商工交流会の受付もはじまりました。商工交流会についての情報や魅力、準備状況などを HP・メールニュースでお届けします。

☆

☆

☆

兵庫県神戸市での開催は 1993 年第 8 回交流・研究集会以来、2 度目となります。その 2 年後の 1995 年 1 月 17 日に阪神・淡路大震災が起き、神戸のまちは壊滅的な被害を受けましたが、それから 20 年、まちの様相もすっかり変わっています。

その神戸での開催という意義を踏まえ、この交流会では全体会での復興県民会議事務局長・岩田伸彦氏の特別報告「阪神淡路大震災から 20 年」、「創造的復興の教訓を検証する」パネルディスカッション、さらには移動分科会「災害復興の現場を歩く―新長田駅南地区」と「巨大再開発の現場を歩く―神戸医療産業都市構想と神戸空港・三宮」が設けられました。復興はどこまで来たか、来るべき自然災害に備えどのように安心・安全のまちづくりをすすめるかを立体的に探ります。



第19回

日程 2015年 9月5日(土) 12時～
9月6日(日) 午後3時30分

会場 神戸芸術センター、兵庫県民会館、神戸市勤労会館
兵庫県立大学・神戸商科キャンパス

宿泊の申込みはお早めに

宿泊希望は㈱ツーリストイン神戸 ☎078-391-2481 への直接申込みとなります。手軽な価格帯のホテルから一杯になります。お早目にお申込み下さい。

◇「憲法講座」戦争法ストップにむけ徹底討論

醍醐聰・東京大学名誉教授＋石川康宏・神戸女学院大学教授

「勝手に決めるな」「民意をないがしろにするな」という国民の多数の声を踏みにじり安倍内閣は戦争法をないがなんでも成立させようと突きすすんでいます。

立憲主義とは、「政府の統治を憲法に基づいて行わなければならない」という近代政治の基本原則です。時の政府がこの憲法の解釈を勝手に都合よく変えてしまえば「権力を縛るはずの憲法が単なるカラ文句になって」しまいます。

国会での議席は多数でも、安倍政権の主要政策と民意との軋轢・矛盾は拡大し、綻びは広がっています。戦争法も解釈改憲も絶対にストップをかけなければなりません。

「どうしたら阻止できるのか」「どこに展望はあるのか」、フロアからの参加も含め、国民運動の課題と展望についても議論をすすめていきます。

***** 《参加申し込みについて》 *****

1、日時・開催場所

第1日：9月5日（土）12：00～〔会場：神戸芸術センター・芸術劇場〕

【全体会】

○講演・井内尚樹・名城大学教授／特別報告基調報告

○基調報告・岡崎民人・常任実行委員

○特別報告①「産学連携の可能性」②「阪神淡路大震災から20年」

【パネルディスカッション】【憲法講座】15：30～18：00

A：阪神・淡路大震災から20年、東日本大震災から5年目

コーディネーター：吉田敬一・駒沢大学教授

B：地域再生の展望をつくる

コーディネーター：岡田知弘・京都大学教授

C：いま、輝く地域密着の小企業・家族経営

コーディネーター：佐竹隆幸・兵庫県立大学教授

「憲法講座」

醍醐聰・東京大学名誉教授＋石川康宏・神戸女学院大学教授

参加者交流会（兵庫県民会館11階ホール）18：45～参加費：5000円

第2日：9月6日（日）

9：00～14：40【分科会】15分科会〔兵庫県立大学・神戸商科キャンパス〕

2、参加費 2日間：10,000円、学生・院生3,000円

問合せ・参加申込は民商・全商連まで

参加申込用紙・リーフレットをお送りします。参加費を添えて8月23日（日）までに実行委員会に申し込んでください。全商連☎03-3987-4391／

全商連HPからも申し込めますので、ご活用ください。

第19回中小商工業全国交流・研究集会